

平成28年度主要行事实績一覧表(上期)

日	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	金	日	水	金	月	木
			定期メルマガ84	立命館大学 底泥WG打合	日本空調S来社 打合	公害防止管理者講習 会/インターンシップ
2	土	月	木	土	火	金
			県へ専務引継 挨拶		決議省略理事会	法条例③ 水質
3	日	火	金	日	水	土
					水環境フォーラ ム	
4	月	水	土	月	木	日
	県受託報告書 提出				工場見学 (金山S・掘場S)	
5	火	木	日	火	金	月
	滋賀県バイオマス 協議会			深川氏講習会 事前打合		インターンシップ生 受入(1-28日)
6	水	金	月	水	土	火
	決算監査	県委託プレゼン 資料提出	西田氏ISO 研修会事前打合	立命館大学 難分解WG打合		
7	木	土	火	木	日	水
8	金	日	水	金	月	木
			県受託契約	合同委員会 (長浜市)	びわ湖花火大会 納涼祭	企画委員会②
9	土	月	木	土	火	金
		県委託2年間分 申請終了			決議省略理事会	法条例④土壌 組織活性化②
10	日	火	金	日	水	土
			GPNセミナー		ISO9001 研修会	
11	月	水	土	月	木	日
		無錫プロジェクト チーム打合	新旧三役会議	決議省略理事会		
12	火	木	日	火	金	月
	県委託説明会			メッセ出展打合 (県受託)		
13	水	金	月	水	土	火
	TKX視察会		あわうみ 司法書士打合	仁保氏講習会 事前打合		
14	木	土	火	木	日	水
			エヌエス環境 セミナー打合			三役会②
15	金	日	水	金	月	木
	日役会①		金山精機製作所 工場見学打合			
16	土	月	木	土	火	金
			県事業報告の為 事前打合			法条例⑤ 化学物質
17	日	火	金	日	水	土
		県受託内定	第42回関西環境 管理者交流会			
18	月	水	土	月	木	日
	チーム台南	省エネ研究会①				
19	火	木	日	火	金	月
	中日文化交流会 (無錫市)	京都環境保全 公社来社打合		ISO14001 研修会	法条例① 産業廃棄物	
20	水	金	月	水	土	火
		県受託見積 提出	登記登録完了 (法務局)	環境政策課 講習会打合		
21	木	土	火	木	日	水
	理事会①		役員変更登録 (県提出)	大津市・草津市 講習会打合		立命館第7回Σ 省エネ研究会③
22	金	日	水	金	月	木
	京都環境保全 公社来社打合		県と受託後の 打合	決議省略理事会	県メッセ事前 打合	
23	土	月	木	土	火	金
			決議省略理事会		決議省略理事会	法条例⑥ 騒音・悪臭防止
24	日	火	金	日	水	土
			県へ27年度 事業報告完了			
25	月	水	土	月	木	日
		琵琶湖保全 再生課打合			総務広報②	
26	火	木	日	火	金	月
					法条例②大気・ 温暖化対策	
27	水	金	月	水	土	火
			省エネセミナー (大阪市)	省エネ研究会②		
28	木	土	火	木	日	水
	定期メルマガ83		県受託納品①	県受託納品②		メッセ出展最終 打合(県受託)
29	金	日	水	金	月	木
				無錫PT 定期メルマガ86	決議省略理事会	県受託納品④
30	土	月	木	土	火	金
			定期メルマガ85		県受託納品③	琵琶湖博物館 定期メルマガ88
31	-	火	-	日	水	-
		定時社員総会 表彰式、交流会			草津エコF 定期メルマガ87	

平成28年度主要行事实績一覧表(下期)

日	10月	11月	12月	H29 1月	2月	3月	
1	土	火	木	湖東環境事務所 打合	日	水	立命館大学 中島先生送別会
2	日	水	金	企画委員会③	月	木	
3	月	木	土		火	金	CLT実証報告会 (栗東)
4	火	金	日		水	仕事初め	
5	水	土	月		木	年始挨拶回り	
6	木	日	火	東近江・湖東環 境事務所打合	金	月	次年度事業計画 事前検討会(上野)
7	金	月	水	大津市打合 エネテック京都 決議省略理事会	土	火	産廃シンポジウム (ピアザ淡海)
8	土	火	木		日	水	
9	日	水	金		月	木	総務広報・企画 委員合同会議
10	月	木	土		火	金	決議省略理事会
11	火	金	日		水	土	新春技術講演会 (龍谷大学)
12	水	土	月	甲賀環境事務所 打合	木	日	琵琶湖再生法 提言書提出
13	木	日	火		金	月	
14	金	月	水	高島環境事務所 打合	土	火	湖北地域 環境保全研修会
15	土	火	木	近畿経済産業局 賀詞講演打合	日	水	湖東・東近江地域 環境保全研修会
16	日	水	金	東レ(株)打合	月	木	高島・大津市地域 環境保全研修会
17	月	木	土		火	金	
18	火	金	日		水	土	底質活性化PT
19	水	土	月		木	日	
20	木	日	火		金	月	新春賀詞交歓会
21	金	月	水	水環境ビジネス	土	火	組織活性化 委員会③
22	土	火	木	琵琶湖再生法 提言書まとめ	日	水	南部地域 環境保全研修会
23	日	水	金		月	木	省エネ研究会⑥ 臨時メルマガ94
24	月	木	土	森林政策課 打合	火	金	甲賀地域 環境保全研修会
25	火	金	日		水	土	省エネ研究会⑤
26	水	土	月		木	日	
27	木	日	火	定期メルマガ91 クリーンセンター 打合	金	月	
28	金	月	水	仕事納め	土	火	定期メルマガ93
29	土	火	木		日	-	
30	日	水	金	省エネ研究会④ 定期メルマガ90	月	-	
31	月	-	土		火	-	

I. 公益目的事業

1. セミナー・講習会・研修会事業

知識の普及、環境人材の育成を目的として、各種テーマのセミナー、研修会や講習会を開催

(1) 法・条例を学ぶ講習会

【滋賀県・大津市後援事業】

企業の CSR 活動の一環として、本講習会の講師は琵琶湖環境部と大津市の方々などをお願いして、法令遵守体制の強化と環境関連に関する法令・条例を基礎から学んでいただくために、平成16年度から実施しており、社員の方々の環境教育プログラムとしてすっかり定着しております。

(敬称略) 単位:名(但し()内は会員)

回	講座名 日 時	講座内容 講 師	受講者数	
			当年	前年
1	産業廃棄物編 8/19(金) 14:30~16:30	・廃棄物処理法を再確認する (1)廃棄物処理法の再確認 (2)ダイコー事件の影響(3)排出事業者責任とは 環境省認定 環境カウンセラー 仁保 めぐみ氏	51 (39)	64 (39)
2	大気編・ 地球温暖化対策編 8/26(金) 14:30~16:30	・「大気関連法令の概要」 環境政策課 宮野主任技師 ・「改正フロン法について」 " ・「地球温暖化の現状と課題」 温暖化対策課 磯谷参事 ・「低炭素社会づくりについて」 "	30 (29)	54 (27) 36 (18)
3	水質編 9/2(金) 14:30~16:30	・水質に関連する法令 ・事業者がしなければならない主な事 環境政策課 重森主任技師	68 (61)	72 (35)
4	土壌汚染編 9/9(金) 14:30~16:30	・土壌汚染対策法の概要について ①土壌汚染対策法の目的 ②土壌汚染状況調査の契機 ③土壌汚染対状況調査方法④土壌汚染判明時の対応 ⑤環境汚染事故未然防止 環境政策課 上田主幹 / 重森主任技師	30 (29)	31 (14)
5	化学物質編 9/16(金) 13:00~16:30	・1部 「製品含有化学物質の管理と伝達」 JAMP 事務局 菊池 英明氏 JAMP 普及企画委員 入江 安孝氏、深川 英明氏 ・2部 化学物質の環境への影響及び 水生生物を利用した水質管理手法(WET)の話 エヌエス環境株式会社 企画部 小野寺部長	65 (58)	--
6	騒音・振動編 悪臭防止編 9/23(金) 13:30~16:30	・1部 「騒音・振動に関連する法令の概要について」 大津市環境政策課 公害規制係 屋本主任、大塚氏 ・2部 「悪臭防止法の概要と苦情の対策について」 環境アドバイザー(KBM技術コンサルタント)杉森公英氏	34 (27)	--
合 計			278 (243)	257 (133)

・今年度は、8月から9月にかけて延べ6日間の日程で上記内容の講習会を実施

・参加者は、会員が前年比183%伸びる。要因は化学物質編と騒音・悪臭編で増加となる。

(2) 地域別環境保全研修会

【滋賀県各環境事務所・大津市との共催事業】

この研修会は、県の主要課題や身近な環境保全対策等について、行政と企業が情報共有や意見交換することにより、地域のレベルアップを図るとともに、協働して環境保全に取り組むことを目的に、平成29年2月に下記7地域で開催しました。

協会のテーマは、環境リスクの未然対応として①環境事故対応訓練 ②化学物質による環境リスクの低減について、地域別に講習会を行いました。

単位：名(但し()内は会員)

地区	日時・場所	県および大津市からの情報提供	参加者	
			当年	前年
湖北	2/14(火) 14:00～16:30 長浜市民交流C	・工場・事業場立入調査、法改正について ・環境事故事例について 滋賀県湖北環境事務所 ・講習会「環境事故対応訓練」 木村電気(株)・谷口商会(株)	46 (17)	50 (30)
湖東	2/15(水) 9:30～12:00 彦根勤労福祉会館	・工場・事業場立入調査指導結果報告等 滋賀県湖東環境事務所 ・講習会「環境事故対応訓練」 木村電気(株)・谷口商会(株)	58 (21)	65 (25)
東近江	2/15(水) 14:00～16:30 近江八幡 商工会議所	・環境管理における環境リスクへの対応について ～廃棄物の基礎(排出事業者の責任)注意すべきこと 滋賀県東近江環境事務所 ・講習会「環境事故対応訓練」 木村電気(株)・谷口商会(株)	50 (20)	56 (25)
高島	2/16(木) 9:00～11:30 新旭公民館	・事業場立入調査指導結果報告等 ・フロン排出抑制法 ・PCB廃棄物について 滋賀県高島環境事務所 ・講習会「環境事故対応訓練」 谷口商会(株)	15 (5)	21 (10)
大津	2/16(木) 14:00～16:40 コラボしが21	・大津市からの情報提供 ①ごみの分別について ②フロン排出抑制法 ③エコライフデーの取組について 滋賀県環境政策課・大津市環境部環境政策課 ・東レ(株)の環境活動の取組について 東レ(株)滋賀事業場 環境保安課 ・講習会「環境事故対応訓練」 谷口商会(株)	58 (14)	62 (32)
南部	2/22(水) 14:00～16:30 草津市立人権C	・工場・事業場立入調査の指摘事項 ・大気汚染防止法の改正について ・環境法定等に基づく基準値の改正について 滋賀県南部環境事務所 ・講習会「化学物質による環境リスクの低減」について 岸環境事務所	39 (9)	39 (9)
甲賀	2/24(金) 14:00～16:30 甲賀合同庁舎	・工場・事業場立入調査の指摘事項 ・土壌汚染の対策について 滋賀県甲賀環境事務所 ・講習会「化学物質による環境リスクの低減」について 岸環境事務所	46 (8)	63 (10)
参加者合計			312 (94)	356 (141)

・参加者は前年比 88%、但し会員参加者は前年比 67%となる。

7 地域 環境保全研修会アンケートのまとめ

1、業種別（参加者 312 名中 293 名 回答あり、94%の回収率）

単位：名

製造	建設	サービス	運輸・ 倉庫	卸売小売	学校・ 病院	情報 通信	行政	その他
219	6	17	2	8	2	0	22	17

2、研修会は

非常に参考になった > 参考になった > 普通 > 参考にならなかった
 60 名 186 名 41 名 6 名

3、【行政の報告で参考になった点】

- ・工場立入調査(地域企業の現状報告)に基づく自社体制の把握と見直し (91 件)
- ・法令改正について (76 件)
- ・事故事例の対応例と再発防止策 (54 件)
- ・廃棄物と有価物の区別や産廃の処理の流れについて (39 件)
- ・変更届出書提出の重要性 (36 件)
- ・土壌汚染対策法に関する各種調査について (23 件)
- ・設備保全の注意点やボイラー燃料配管の経年劣化について (16 件)

【行政への要望】

- ・指導件数の多いものについては全て事例を教えて欲しい (22 件)
- ・代替フロン地球温暖化をもっと強調して欲しい (18 件)
- ・立入調査で実際にあった不正事例を具体的に説明して欲しい (7 件)

4、【油流出事故の講習会について参考になった点】

- ・初動対応の重要性についてと現場でやってはいけないこと (76 件)
- ・中和剤は油を乳化分散させるだけで回収が必要、使用については良くないこと (65 件)
- ・川の流れに応じたの防止策とオイルフェンスの張り方など事故対応のノウハウ (47 件)

【油流出事故の講習会についての要望】

- ・再発防止策についてももう少し具体例が欲しかった (16 件)

5、【化学物質の環境リスク低減について参考になった点】

- ・化学物質 640 種類の再チェックと環境リスクアセスメントについて (38 件)
- ・RoHS指令について具体例を元にした説明が分かり易かった (23 件)
- ・労働安全の観点からリスク管理について知ることが出来た (18 件)
- ・災害、事故対応マニュアル作成の手引き、作成例が参考になった (15 件)

(3)新規事業

ISO新規格勉強会

2016年は、ISO関連のマネジメントシステム規格にとって、新たな展開の年となりました。昨年、2004年版が規格改定され、新規格改訂に移行しております。この新規格改訂は、トップマネージメントの役割が強化され、本物のマネジメントシステムに近づけ、【組織の意図した成果を達成するのに有効な仕組みとは何か！】を考えて、それぞれの組織がリスクを考慮した仕組みの構築を求めて改訂されました。協会として、環境対応とISOシステムを改善する視点から、改訂の概要、移行・マニュアル変更のポイントを詳細に判り易く解説することを企図した研修会を開催しました。

ISO14001	内容	「ISO14001新規格の解説と移行・ マニュアル変更のノウハウ」
	講師	CEAR環境マネジメント主任審査員 岸 孝雄氏
	開催日時	平成28年7月19日(火) 14時～16時30分
	場 所	コラボしが21 研修室
参加者	11名	

ISO9001	内容	「ISO9001新規格の解説と移行・ マニュアル変更のノウハウ」 ・2015年版改訂の共通ポイント(14001,9001)
	講師	JRCA QMS主任審査員 金 泰成氏
	開催日時	平成28年8月10日(水) 13時30分～16時45分
	場 所	コラボしが21 研修室
参加者	9名	

【 岸講師と金講師による講義風景 】



講義での改訂のポイントとしてマネジメントシステム規格の共通の説明があり、今後、複数のマネジメントシステム(例えば、品質、環境、情報セキュリティ)を実施している組織がそれらをよりよく統合し、より効率的かつ効果的に実施できるようになることが期待されるという説明が冒頭にありました。

また、そのような内容を踏まえて、項目ごとに例えば、リスク(課題解決)は、解決したらどのようなプラスになるのか明確にする。また達成計画はより詳細につくる。そしてマネジメントレビューは、経営者の承認が必要など詳細な説明がそれぞれの講義でありました。

2、産学連携学習・研究事業

公害防止管理者資格試験「事前受験対策集中講座」(第4回)

地域連携ネットワークづくりとして、環境管理実務者の相互研鑽のために、産学連携による各種勉強会やシンポジウム及び交流会に主催・共催として協力しております。

本年度は、龍谷大学 瀬田キャンパスの REC ホールで3年ぶりに開催しました。
また講義も従来2日間で行っていたのを1日での開催にしたところ、12名(前年8名)の方々に参加していただきました。

◆開催日時 平成28年9月1日(木) 9:20~16:50

◆開催場所 龍谷大学 瀬田キャンパス REC ホール

◆参加者 12名

◆共催 (公社)滋賀県環境保全協会

【カリキュラム】

9:20~ ①汚水処理特論 ②水質有害物質特論 ③演習

講師:龍谷大学工学部環境ソリューション学科 実験講師 桧尾 亮一氏

13:35~ ④公害総論 ⑤水質概論 ⑥大規模水質特論 ⑦演習

講師:(一財)関西環境管理技術センター 専務理事 武甕 孝雄氏



滋賀県は琵琶湖を中心に豊かな自然を有しており、生物資源の宝庫です。この資源の有効活用に着目してΣ 研究センターと生物資源研究センターとの合同シンポジウムが立命館大学 BKC ローム会館で開催され、会員企業や一般企業及び学生等も含めて約 130 名の方々が参加されました。

日本最大の淡水湖である琵琶湖は今、富栄養化など従来の環境問題に加え、地球温暖化の影響など新たな課題に直面しています。そうした中で、改めて琵琶湖の歴史を振り返り、滋賀の薬用植物資源、瀬田シジミの水産業、また第6次産業に取り組んでいる企業の取組と本年度は、多角的な角度から琵琶湖への理解を深めるために、合同シンポジウムを開催しました。

- ◆開催日時 平成 28 年 9 月 21 日（水） 13:00～17:30
- ◆開催場所 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス ローム記念館 3 階及び 5 階
- ◆参加者 約 130 名
- ◆主 催 立命館大学 琵琶湖Σ 研究センター
立命館大学 生物資源研究センター
(公社)滋賀県環境保全協会

【プログラム】

- 第 1 部 ポスターセッション:立命館大学 研究生による研究テーマの発表(24 件)
:ポスター出展企業 オリエンタル酵母(株)、キリンビール(株)
第一工業製薬(株)、(株)たねや、(株)日吉 他 8 社
- 第 2 部(講演会)
- 1、挨拶 立命館大学 生物資源研究センター副センター長 石水 毅氏
(生命科学部 准教授)
 - 2、基調講演「我が国の食料・農業・農村の動向を見る～平成 27 年度白書より」
農林水産省 大臣官房 広報評価課 情報分析室長 小山内 司氏
 - 3、講演 ① 「滋賀の薬用植物資源」薬学部 教授 田中 謙氏
② 「瀬田シジミの現状」瀬田漁業協同組合 組合理事長 吉田 守氏
③ 「地域農業の発展に貢献する ICT 農業の取組
～守山市冬メロン無加温 12 月収穫栽培技術の創出～
パナソニック(株)新規事業開発部 柏本 隆氏
 - 4、閉会挨拶 琵琶湖Σ 研究センター長 / 生命科学部 教授 久保 幹氏

3、交流会事業

(1) ～ ～ 第 42 回関西環境管理者交流会 ～ ～

(京都・神戸・滋賀 3 地区共催事業)

第 42 回の交流会は、京都工業会が幹事で、(株)島津製作所で下記の要綱で開催されました。
参加者 48 名中、当協会からは 16 名の会員が参加しました。

【 記 】

14:00～15:20 挨拶、3 団体の活動紹介、島津製作所の環境取組説明

15:30～16:45 工場見学

17:00～18:30 懇親会

【工場見学内容】

(株)島津製作所の環境への取組として生物多様性の取組と島津の森づくり、そして環境負荷低減取組の説明のあと、工場見学が始まりました。

ショールーム見学では最新の医療の画像診断機や PET システム（早期乳がん発見検査装置）、そしてノーベル賞を受賞された田中耕一氏の「レーザーイオン化質量分析計用試料装置」の見学。またなぜ受賞されたか…タンパク質を気化させイオン化させるためにある熱エネルギー緩衝材として使用したところ、レーザーによりタンパク質を気化、検出することに世界で初めて成功し、その後実用化とのこと…大変興味深い説明を聞くことが出来ました。

その後、本社前の身近な自然環境への取組事例として「島津の森」の散策と、2014 年 6 月に竣工した本社棟の見学では、直射日光による影響の軽減を自動管理し、自然の風を利用し空調システムを採用している最先端の省エネ取組の職場を見学することが出来ました。参加者も熱心にあれこれ質問してメモを取っておられました。

当日見学させていただきました職場の皆様、快く受け入れてくださり、ありがとうございました。なお、当日は、限定された場所でしか撮影できておりません。

(株)島津製作所



「島津の森」



同社 地球環境管理室 藤岡室長挨拶



「最新の医療画像診断機」



(2)企業見学会

(敬称略)

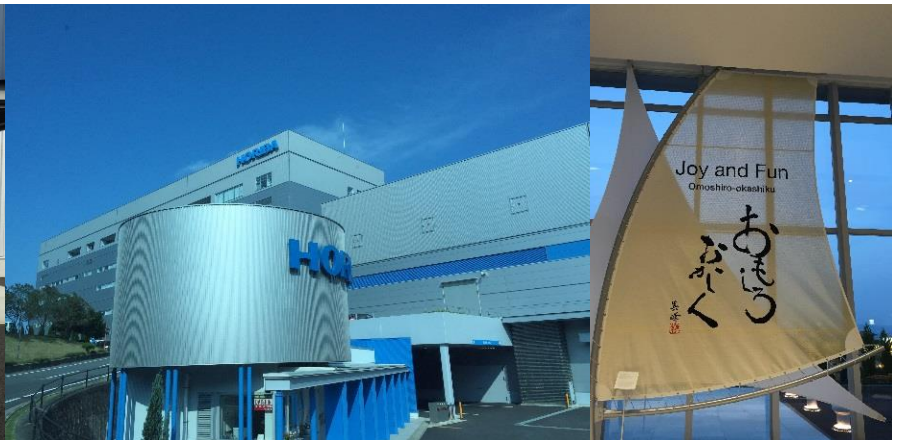
日程	企業見学内容	参加者
8/4(木)	<p>企業見学会は、平成26年9月に操業を開始されました(株)金山精機製作所と今年5月23日から稼働されました(株)堀場製作所びわ湖工場を見学しました。</p> <p>最初に大津市山百合の丘の工業団地にある(株)金山精機製作所を見学しました。まず金山社長の新工場設立に秘められた熱い想いの話に始まり、西川部長からは、地熱利用の新空調システムの案内やクリーンな環境実現による省エネの説明があり、独自に構築された工場に全員感激し、質問も熱心に皆様されていました。</p> <p>次に(株)堀場製作所びわ湖工場を訪れました。こちらは、まだ5月に稼働したばかりの工場で、高台から見るびわ湖の景色は絶景でした。まず当協会理事である山口氏より会社概要の説明の後、西村工場長のびわ湖工場の見所の紹介がありました。まず、最高水準の自動車試験設備であるE-LABの見学に驚いたあと、9階ある建物内の各階の説明を聞きながら素晴らしい環境の中で働いておられる「ホリバリアン」の社員の方々が羨ましくも感じられ、最新工場の「ものづくりの生産体制」は、参加された皆様の業務に大いに参考になったのでは…と思います。</p> <p>なにわともあれ、皆様この日は酷暑でしたが、無事工場見学を終えることができました。この日出会った皆様方に感謝します。 拝</p>	21名

(株)金山精機製作所で全員集合写真)

(株)堀場製作所の外観と社是です。



(株)堀場製作所で全員集合写真)



この素晴らしい景色みてください…正面は三上山



平成29年 新春特別講演会・賀詞交歓会

大津市内のホテルで新春賀詞交歓会を開催致しました。

当日は、国会議員の先生方をお招きして 2015 年 9 月 16 日に成立しました琵琶湖再生法成立後の滋賀県に期待される「環境共生」と「地方創生」についてお話をお願いしておりました。しかし、この日は国会招集日と重なってしまい、ご出席がかないませんでしたので、議員秘書の方々に代理出席していただき先生方のメッセージを披露してもらいました。

その後、近畿経済産業局、資源エネルギー環境部環境・リサイクル課 課長の田口一江様に特別講演をお願いして「環境ビジネスとして様々な支援補助金」のお話をしていただき、特にご講演の中でも、中小企業向け政策のポイントや地域未来投資促進事業、そしてバイオマス活用等についての事例はとてわかりやすく 参考になったと出席者の方々から感謝の意を頂戴し、おかげさまで大好評の講演会として滞りなく終えることができました。

今後、継続事業として開催する予定ですので、今回ご都合で欠席された方々も併せて皆様方多数のご参加を来年もお待ちしております。

- ◆開催日時 平成 29 年 1 月 20 日（金） 16:00～20:00
- ◆開催場所 琵琶湖ホテル「ローズの間」
- ◆参加者 90 名
 - ・第一部 来賓挨拶
 - 南 史朗様(衆議院議員 大岡 敏孝先生秘書)
 - 田中 久夫様(衆議院議員 うえの 賢一郎先生秘書)
 - 今江 恒夫様(衆議院議員 武村 展英先生秘書)
 - 吉竹 優子様(参議院議員 ありむら 治子先生代理)
 - 新井 優一様(参議院議員 二之湯 武史先生秘書)
 - 西岡 直人様(参議院議員 こやり 隆史先生秘書)
 - ・新春特別講演会「環境ビジネスと地方創生」について 16:30～17:10
経済産業省 近畿経済産業局 資源エネルギー部 環境・リサイクル課
課長 田口 一江様
- ・第二部 賀詞交歓会 17:10～20:00
 - 乾杯の音頭 (株)鳥塚 代表取締役 鳥塚 五十三様
 - 中締め (株)アオヤマエコシステム 取締役会長 青山 章様
 - 仁連会長挨拶 吉田専務理事が司会進行役



ご来賓(各議員秘書)により各議員からのメッセージを披露していただきました。



そして近畿経済産業局 田口課長による特別講演と芝原副会長の謝辞



いよいよ第2部 賀詞交歓会の 始まり～ 始まり～
芝原副会長より開演の挨拶

鳥塚社長より声高らかに乾杯の音頭



4、情報発信事業・その他

(1)

「びわ湖環境ビジネスメッセ2016」出展

日時：平成28年10月19日(水)～21日(金)
10:00～17:00
場所：長浜バイオ大学ドーム

今年度協会ブースは「水環境ビジネスゾーン」
県受託ブースは「環境啓発ゾーン」でそれぞれのブース
での出展となりました。

『協会ブースA-12』

「琵琶湖を守る！持続可能な環境づくり」をテーマとして今年度、環境優良事業所として協会長を受賞されました3事業所の環境への取組内容をパネル化して展示しました。

そして本年度は、ビジネスメッセ本来の基本に戻り、琵琶湖の水質保全に取り組んでいる協会の事業内容をパネル化して来場者に協会活動の訴求及びPRIにつとめた所、約400名の方が来場されました。

さらに水環境ビジネスとして海外に進出する時、協会に対してどのようなセミナーを要望されるか来場者にアンケートを実施しましたところ、水環境ビジネスに関するセミナーや水質規制等に関する人材育成支援などをして欲しいとのご意見が多数寄せられました。今後、ご期待に応えられるセミナーを企画してまいります。

『県循環社会推進課受託ブースHS-14』

「ごみ減量化削減」への取組事例として今年度は「第4次滋賀県廃棄物処理計画における食品ロス対策の方向性」として「食品ロス削減」への取組内容及び取組事例をパネル化して来場者への啓発につとめました。

さらに「食品ロス削減」に関するアンケート方式のクイズを来場者に行って、食品ロス削減の啓蒙に努めました。その結果、年配の方々や学生の人たちが、積極的に食品ロス削減に取り組んでいる姿勢と意識の高さを伺い知ることが出来ました。

またブース内にパソコンを設置して11月16日から「資源化情報サイト」がリニューアルオープンするので、その広報活動にも務めることが出来ました。

そしてこの受託ブースには、社会人・学生・一般客・行政の方々併せて約600名以上の方が来場されました。ありがとうございました。

〔全来場者数：29,190名/(H27：33,080名)〕

『協会ブース出展メーカー』

協会環境保全優良事業所受賞事業所…3社

- ・ (株)コクヨ工業滋賀
- ・ (株)滋賀銀行
- ・ 第一工業製薬(株)

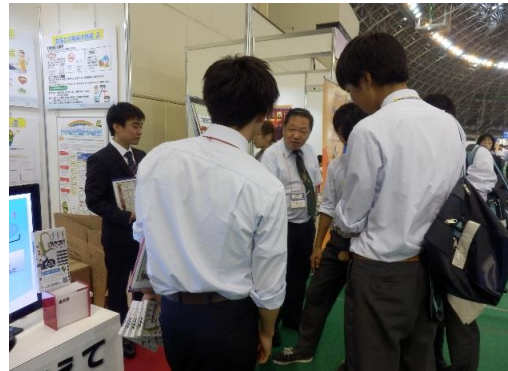
『県受託ブース出展内容』

- ・ 「食品ロス」削減への取組と提案パネル …4枚
- ・ 「食品ロス」削減への提案パネル …3枚
- ・ ごみ減量・資源化情報サイトパネル …1枚
- ・ 「食品ロス」削減クイズパネル …1枚

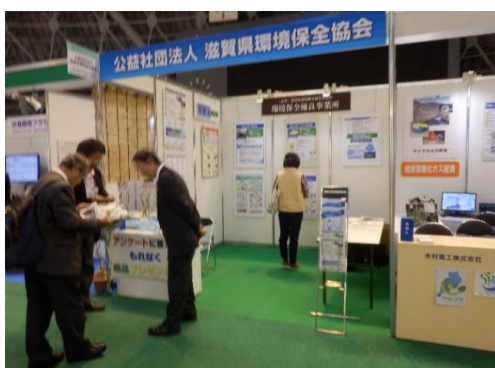
【10/19(水)セレモニー風景】



【10/20(木)受託ブースアンケート風景】



【10/21(金)協会アンケート実施風景】



【10/21(金)パネル展示説明風景】



(2) 広報誌「碧い湖」の発行（発送先; 440 件）

広報紙を発行して環境情報の普及啓発に努めました。

◆ 第 63 号 平成 28 年 10 月 5 日 特集「琵琶湖再生法」のその後の動きについて

(3) ITを活用した環境情報の提供

ホームページ(HP)やメールマガジンを活用し、活動等の情報発信を積極的に行いました。

①最新の環境情報の提供や環境法令・省令、滋賀県環境関連条例の改正点をまとめたニュースを定期的に月に一度、メールとファックスにて会員向けに発信しました。
・メールマガジン(環境情報および法・条例トピックス)…83号～95号の計13件

②HPの更新: 12回(イベント案内、事業報告、行政からのお知らせ、法令トピックス 等)

(4) 資源化情報システム運営管理業務【滋賀県受託事業】

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課のホームページ運営管理等を受託しました。

循環型社会の形成をめざした3R取組企業の事例紹介や食品ロス削減への取り組みと提案、情報サイト『ごみ減量・資源化情報』の更新、及び「びわ湖環境ビジネスメッセ2016」出展による情報発信を行いました。

(5) 滋賀県環境関係条例集の継続販売

平成 27 年 1 月発行の「滋賀県環境関係条例集」を販売 …… 6 冊販売

(6) インターンシップ大学生の受入

産学連携、若手人材育成の一環として大学からインターンシップ学生の受入を実施

期 間：平成 28 年 9 月 1 日(木)～9 月 29 日(木)(延べ 17 日間)

人 数：2 名 (滋賀県立大学 環境科学部)

内 容：法・条例を学ぶ講習会及びビジネスメッセ展示内容企画立案と補助手伝い

(7) 公共的活動の推進

(公財)滋賀県環境事業公社	評 議 員	(専務理事 吉田 守)
同 上	環境監視委員	(業務執行理事 深川 英明)
同 上	環境監視委員	(業務執行理事 乾 良幸)
同 上	事業推進検討委員	(事務局長 鶴田 三司)

(8) エコポイントによる環境寄付金受領

省エネ住宅エコポイントの環境寄付対象団体に継続採択され、受領寄付金は下記期間内に企業の自主的な環境保全活動を後押しするために使わせて頂きました。

◆ 期 間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月 ◆ 寄付額：14,458 円